

統計月報

統計月報 令和2年8月
 公益財団法人 城北労働・福祉センター
 〒111-0021 東京都台東区日本堤2-2-11
 TEL 03(3874)8089 FAX 03(3871)2460
<http://homepage33.la.coocan.jp/>

～職業紹介事業の実績(7月)～

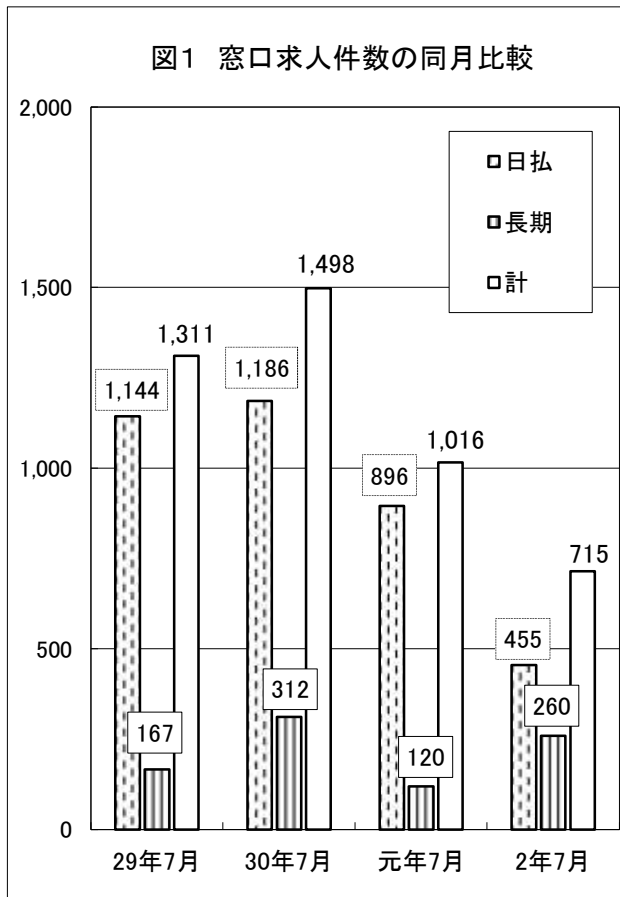
(1) センター窓口における求人件数及び紹介件数の概要

令和2年7月の職業紹介におけるセンター窓口からの求人件数及び紹介件数は、図1及び図2のとおり。

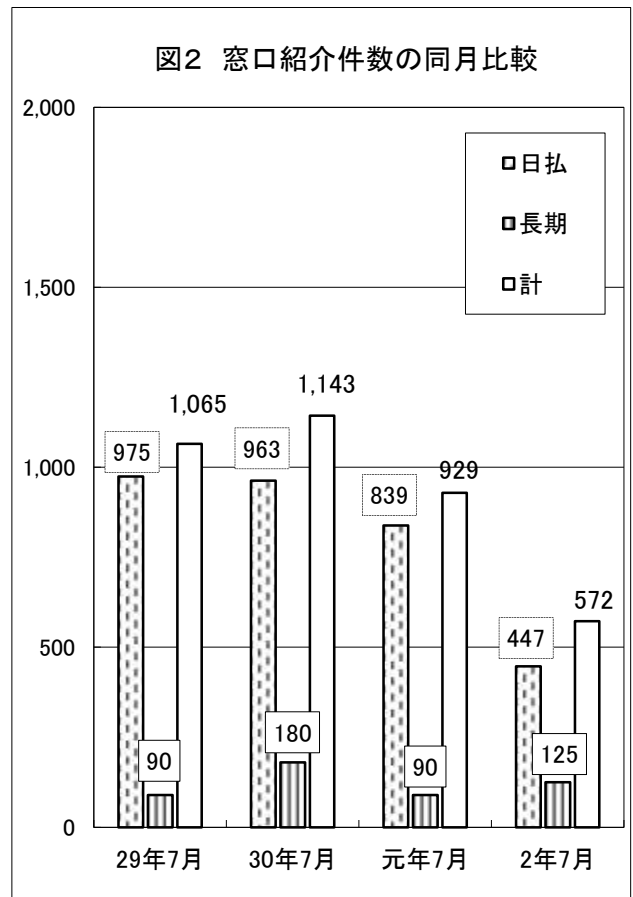
窓口求人件数は715件(前年同月1,016件)、301件の減少(△29.6%)であった。

窓口紹介件数は572件(前年同月929件)、357件の減少(△38.4%)であった。

窓口紹介件数を雇用期間区分別にみると、日払は前年同月比392件の減少(△46.7%)、長期は35件の増加(38.9%)であった。



窓口求人	29年7月	30年7月	元年7月	2年7月	前年比	増減率(%)
日払	1,144	1,186	896	455	△441	△49.2
長期	167	312	120	260	140	116.7
計	1,311	1,498	1,016	715	△301	△29.6



窓口紹介	29年7月	30年7月	元年7月	2年7月	前年比	増減率(%)
日払	975	963	839	447	△392	△46.7
長期	90	180	90	125	35	38.9
計	1,065	1,143	929	572	△357	△38.4

*「長期」は、求人・紹介ともに延べ数(人数×日数)である

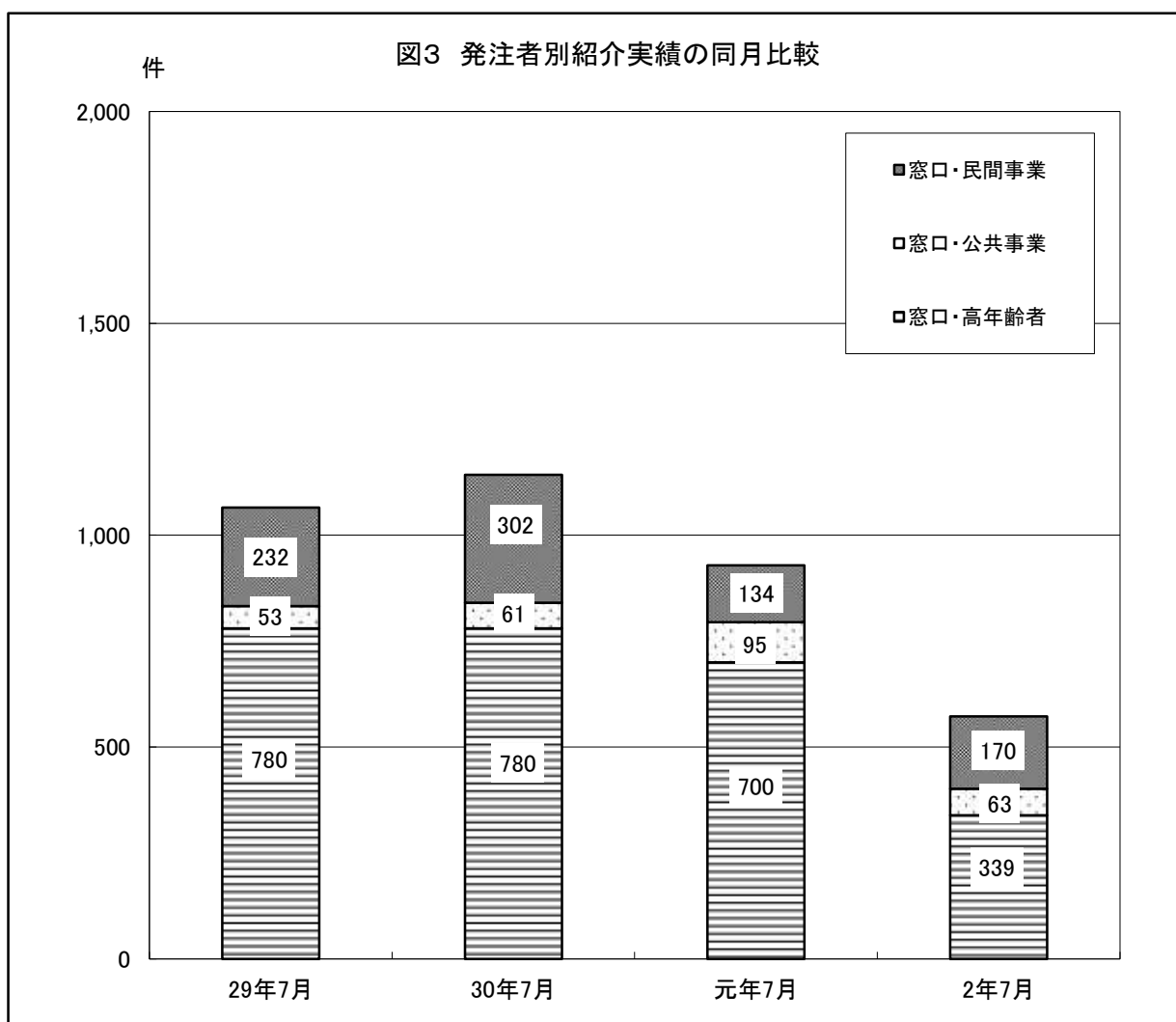
(2) 紹介区分別

センター窓口からの紹介実績は、紹介区分（仕事の内容（＝発注者）別）で以下のように分けられる。

- ①民間事業
- ②公共事業（特別就労対策事業以外で、都や区など公共団体が発注している清掃等の仕事）
- ③東京都の「高年齢者特別就労対策事業」（＝輪番紹介）

図3より、センター窓口からの紹介実績をみると、

- ①「民間事業」は36件の増加（前年同月比26.9%、日払は1件の増加、長期は35件の増加）
 - ②「公共事業」は32件の減少（前年同月比△33.7%）
 - ③「高年齢者特別就労」は361件の減少（前年同月比△51.6%）
- 窓口計では、357件の減少（前年同月比△38.4%）となった。



	29年7月	30年7月	元年7月	2年7月	前年比	増減率(%)
窓口・民間事業	232	302	134	170	36	26.9
窓口・公共事業	53	61	95	63	△32	△33.7
窓口・高年齢者	780	780	700	339	△361	△51.6
窓口計	1,065	1,143	929	572	△357	△38.4

(3) 紹介実員数

ここでは紹介の延べ件数ではなく、「『何人』に仕事を紹介したか」という観点から、紹介実績の動向をみる。図4のとおり令和2年7月の紹介実員数（＝窓口計）は図4のとおり452人であった。（前年同月842人）

民間事業では、日払の紹介実員数は75人（前年同月74人）と長期は4人（前年2人）であった。また、窓口紹介実績の一日平均は、3.8人であった。

図4 紹介実員数の同月比較

		元年7月	2年7月	前年同月比増減数	増減率(%)
窓 口	民間事業	76	79	3	3.9
	公共事業	66	34	△32	△48.5
	高年齢者特別就労	700	339	△361	△51.6
紹介実員数(窓口計)		842	452	△390	△46.3

～生活相談・応急援護事業の実績(7月)～

(1) 受付総数・相談件数（一日当たり受付数・相談数）

令和2年7月の相談受付件数（＝相談数（計））は図5のとおり317件で、元年7月に比べ37件の増加（2.4件/1日平均）となり、4か月連続でプラスとなった。
新規来所件数は40件であった。

図5 受付・相談の月総数及び一日平均の前年同月比較

		月総数				1日平均		
		元年7月	2年7月	増減数	増減率(%)	元年7月	2年7月	増減数
受付		272	306	34	12.5	12.4	14.6	2.2
新規		23	40	17	73.9	1.0	1.9	0.9
内 訳	医療相談	3	3	0	0.0	0.1	0.1	0.0
	生活保護等	3	2	△1	△33.3	0.1	0.1	0.0
	労働相談	10	16	6	60.0	0.5	0.8	0.3
	応急援護	81	111	30	37.0	3.7	5.3	1.6
	その他相談	183	185	2	1.1	8.3	8.8	0.5
相談数(計)		280	317	37	13.2	12.7	15.1	2.4

* 来所者が1回の受付で複数の相談を行う場合があるため、受付件数と相談件数は一致しない

* 開所日数は、令和2年7月は21日間、令和元年7月は22日間であった。

(2) 応急援護の内訳

図6-1及び図6-2のとおり、宿泊相談は月合計で前年同月比6件の減少(△14.3%)、給食相談は32件の増加(188.2%)、物品相談は4件の増加(21.1%)、交通費相談は前年同数となった。

なお、7月の開所日数は、本年度は21日間、元年度と30年度は22日間、29年度は20日間であった。

図6-1 応急援護数(内訳)の同月比較

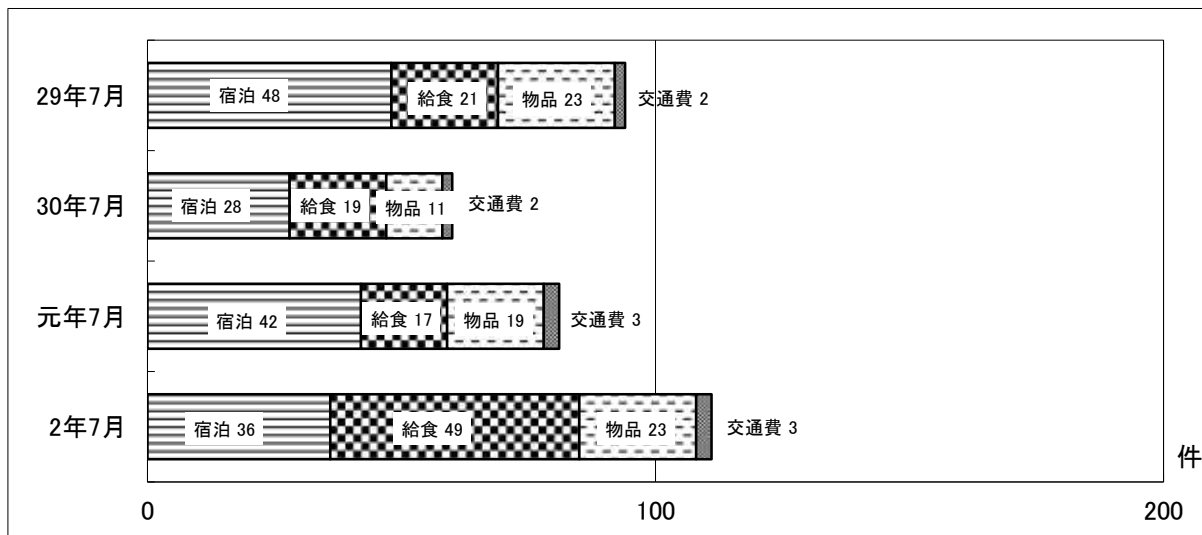


図6-2 応急援護数一日平均(内訳)の同月比較

